

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

2・3・6頁 京都教区巡礼指定地紹介

4頁 よりよき宣教共同体となるために(8)

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込み
TEL・FAX 0794-31-8601



京都教区では、巡礼指定地の訪問の代わりに大聖年の免債を得る条件として、教区が指定した各地の大聖年行事に参加することが加えられています。現在指定されている行事は次のとおりです。

(写真は巡礼指定地の宮津教会です。2・3・6頁記事をお読み下さい。)

- 9月24日(日) 京都南部地区東ブロック「子供と共に捧げるミサ」(河原町教会)
- 11月19日(日) 三重地区「国際ファミリーデー in Mie」
- 12月3日(日) 京都北部地区「聖体大会」(日星高等学校)

京都教区指定行事

3
2000

京都教区巡礼指定地紹介へその2

今月の巡礼指定地の紹介は宮津教会です

『巡礼指定地となつた宮津教会の現状』

宮津教会固有の課題は、天主堂を訪れる観光客の増加でしょう。私たちの聖堂は、献堂以来百四年目を迎えます。地元の人々から

れており、明治前期のキリスト教

会堂の様子を伝える遺構として、極めて貴重な建築であると言われています。そのため、とくに献堂百周年以来、ここを訪れる観光客が増加しています。観光客にもこの聖堂を開放し、貴重な遺構を見ていただこうという思いと、礼拝堂としての静ひつな雰囲気を保持

たしといふ思いが容易に向うぢやまことに苦慮している状態です。とりわけ、大型観光バスで大挙して来られる旅行社主催のツアーニは、どこか割り切れない思いがあります。宮津教会は、今年、京都

《宮津教会の歴史》

宮津教会のある丹後地方は、細川ガラシア夫人隠棲の地や、関ヶ原の戦の後、ヨハネ京極高知というキリストン大名が住んでいた、カトリックにゆかりのある地です。また、野田川町山田には、俗に「マリア地蔵」と呼ぶ御子を抱え、雲の上に座した聖母の石像が発見されており、キリストン大名池田輝政の娘が建立した国清寺や天の橋立の知恩寺にもまりあ灯籠が発見されています。したがって、丹後地方は戦国時代から徳川初期にかけて多くのキリストンが住んで

月二十一日神戸港に上陸しました。三年間の京都河原町教会での生活を終え、一八八八年十二月、この宮津の地にやってきました。しかし、禁教令が解除されて十数年し、か経つていませんでしたから、「耶穌」の宣教師に対する故なき反感、嫌悪はまだまだ強く、小石や瓦がとんでくることも、しばしばあつたようです。幸い、旅館「ふで屋」の老人が義侠心に富んじ人で、一軒の借家を斡旋してくれ、漸くにしてこの地に居を構えることになりました。その借家の家主が、日置村の豪族である田井

いう神父でした。彼が「洗礼を望みますか」と言うと、瘦せこけた病人はこくりとうなずきました。彼にどんな心境の変化が起こったのか、素直に洗礼を受けてしまったのです。実は彼の友人であった森有礼氏（後、文部大臣となり、刺客の手に倒れる）のすすめで、霊南坂の教会でキリスト教の手ほどきを受けていたらしいのです。

受洗の翌朝、いつものように痰壺を替えようとした奥さんが蓋を取つてみると、昨日まで血痰でいっぱいであった痰壺が白痰に変わつてしましました。一滴の血も混ざってい

北部における巡礼教会として指定を受けましたので、巡礼者の祈りを妨げないよう、旅館・観光組合に事情を説明し、理解を求めました。その結果、巡礼者を配慮して、今年一年、聖堂入口に「観光客の皆さんへ」の看板を取り付けてもらい、見学上の注意を促すことになりました。

いたと考えられます。このようにかつては多くのキリストンを受容した丹後地方に、近代に入つて再び宣教活動を始めたのは、宮津教会の創立者、パリ外国宣教会のルイ・ルラーブ神父でした。師は幼少の頃、日本二十六聖人にさざげられたコンタツ（ロザリオ）を貰い、つまぐり祈りながら、未だに殉教の怖れさえ残されていそうな日本に深い関心と憧れをつのらせていたそうです。師は、一八八五日本二十七日、司祭叙階を受け五郎衛門氏でした。日置村は全村日蓮宗で、彼自身も日蓮宗の門徒でした。彼は、ルラーブ神父が借家の土地を譲り受けたいと申し出ても、「他の者にくれてやつても、耶蘇には売らない」と断つてしましました。あるとき、田井氏は結核にかかり、突然大喀血をし、その療養のため、東京の芝白金三光町にある北里養生園に入ります。しかし、その後の治療の甲斐なく、病状はどんどん悪化し、回復の見込みのない重態に陥りました。そ

五郎衛門氏でした。日蓮宗は全村日蓮宗で、彼自身も日蓮宗の門徒でした。彼は、ルラーブ神父が借家の土地を譲り受けたいと申し出ました。「他の者にくれてやっても、耶蘇には売らない」と断ってしました。あるとき、田井氏は結構にかかり、突然大喀血をし、その療養のため、東京の芝白金三光町にある北里養生園に入ります。しかし、その後の治療の甲斐なく、病状はどんどん悪化し、回復の見込みのない重態に陥りました。そのとき出会ったのが、ビグルスという神父でした。彼が「洗礼を望みますか」と言うと、瘦せこけた病人はくくりとうなずきました。彼にどんな心境の変化が起こったのか、素直に洗礼を受けてしまったのです。実は彼の友人であった森有礼氏（後、文部大臣となり、刺客の手に倒れる）のすすめで、靈南坂の教会でキリスト教の手ほどきを受けていたらしいのです。受洗の翌朝、いつものように痰壺を替えようとした奥さんが蓋を取つてみると、昨日まで血痰でいっぱいであった痰壺が白痰に変わっていました。一滴の血も混ざってい

なかつたのです。その後、幸いにも日を追つて回復に向かい、漸く歩けるようになつて、ビグルス神父にお礼を言いに行つたところ、同師は「宮津にはルラーブ神父がいるので、彼を尋ねなさい」と言つたのです。これを聞いて、田井氏は「さて、もしやうちの借家人では……」と思い至り、宮津に帰る。感謝のしるしとして、ルラーブ師が住んでいた借家と周囲の土地をすべて彼に寄付してしまつたのでした。それが現在の宮津教会の在所です。

さて、日置村の豪族、田井五郎衛門の受洗は、丹後の地に大きな反響を呼んだと思われます。少しずつですが、信徒の数が増えています。そこで師は、聖堂建設のため、フランスの兄弟や友人知人に寄付を仰ぎました。設計者はルラーブ師自身、施工者を地元の棟梁大井正司氏とし、一八九五年に着工しました。翌年、竣工の運びとなり、洗者ヨハネを保護聖人として、五六日に献堂式を盛大に行いました。当初、外壁は漆喰塗り、正面の屋根は切妻でした

が、一九二七年三月の丹後地震により一部損壊し、正面はモルタルのファサードとなり、他の三面は下見張りに改められました。しかし、幸い内部意匠はほとんど被害を受けず、往時の様子を今日にとどめています。床は畳敷、丸い柱はケヤキで作られ、天井はロマネスク様式のこうもり型というふうに和洋折衷様式となっています。また、ステンド・グラスはフランスから輸入されたもので、創建当時の幻想的な美しさを今なお堂内に醸し出しています。

一九三三年四月、当地のミッション校(暁星女子高等学校)の前身、暁星実科女学校の経営が聖母訪問会に移管され、シスターたちが来津し、学校教育を通して、当地的福音宣教に従事しました。丹後地方には、暁星出身の信者が多いと言われています。さらに、一九五一年、丹後地方が大阪司教区から京都司教区に移管されて以来、今日に至るまでレデンプトール修道会がこの地方全域の宣教司牧を担当しています。そして、一九九六年五月六日、神の恵みと導きにより、私たちは、一世紀の歩みを記念し、献堂百周年を盛大に祝うこ

とができます。宮津という田舎で、キリスト教が一世紀の歩みをしたことができたことは、まさに感慨に耐えません。全国から多くの信徒が駆けつけてくださり、喜びを共にしてくださったことは、忘ることのできない思い出となります。

一九三三年四月、当地のミッション校(暁星女子高等学校)の前身、暁星実科女学校の経営が聖母訪問会に移管され、シスターたちが来津し、学校教育を通して、当地的福音宣教に従事しました。丹後地方には、暁星出身の信者が多いと言われています。さらに、一九五一年、丹後地方が大阪司教区から京都司教区に移管されて以来、今日に至るまでレデンプトール修道会がこの地方全域の宣教司牧を担当しています。そして、一九九六年五月六日、神の恵みと導きにより、私たちは、一世紀の歩みを記念し、献堂百周年を盛大に祝うこ

とができます。宮津という田舎で、キリスト教が一世紀の歩みをしたことができたことは、まさに感慨に耐えません。全国から多くの信徒が駆けつけてくださり、喜びを共にしてくださったことは、忘ることのできない思い出となります。

往年、暁星女子高校はその出身者の多くを受洗に導き、共同体づくりに大きな役割を果たしていましたが、今日では、教会が洗礼志願者一人ひとりに丹念に関わって、忠実に福音を伝え、福音宣教する自立した信徒の養成を行なうことが必須となっています。

このように、私たちの共同体には困難な課題が尽きませんが、決して希望を失つてはいません。当初、ルラーブ神父様は、わらじ履きで若狭小浜から但馬豊岡まで行脚し、石や瓦をぶつけられ、罵られながら宣教しました。このとき、師の脳裏には、宣教するザビエルの姿があつたに違いありません。

こうして、田井氏をはじめ、さまざまな人々との奇遇しき出会いが重なり、丹後の地に信仰の光が灯されていったのです。これは、まったく思いがけないことで、神の導

よりよき宣教共同体となるために (8)

滞日外国人の「ともだち」募集

海外諸国から職を求めて日本を訪れる人々、および、日本人の配偶者としてやって来る外国人の中には、日本語が出来ないので教会の住所を知らない人、ミサにあづかりたくても日本語が十分に分からぬ人がいます。

また生活面においても、同じ信仰の兄弟たちに助けてほしいことがたくさんあっても、どうもお互に遠慮してしまいます。

「すべての人が参加できる教会」を目指して、ボランティア活動の心構えは、ますなによりも「ともだち」になろうということです。

滞日外国人にお尋ねしました。彼らは何を望み、何を期待しているのでしょうか。それはいつも「ともだちがほしい」という答です。

以前より、多少、日本語が少し話せる人が増えているので簡単なコミュニケーションは出来ます。難しい意味の文化の交流ではなく、例えば、学校からの通知やいろいろのお知らせを説明して欲しい。

漢字が読めなくて恥ずかしく思う人はともだちの助けを必要としています。それに子どものお弁当の作り方、慣れていない日本の習慣の説明のためにささやかな友情によってお互いに学びあいながら、新しい信頼関係が出来てきます。そして、同時に新しい信仰共同体の姿も形成されてきます。



て

●市民団体、専門家、援助グループに紹介する

●滞日外国人の生活状況について学ぶために、研修会などに参加する

詳しいことは京都教区の国際協力委員会へお尋ねください。

各地区の窓口は次の方々です。

○京都北部地区

シスター 原田

電話 0773・75・3221

○京都南部地区

ロペス神父

電話 075・691・5615

○奈良地区

シスター森川

電話 0742・22・6160

○三重地区

ネリグ神父

電話 0592・28・2580

○滋賀地区

ジャクソン神父

電話 0775・62・3510

○京都教区国際協力委員会担当

●日本の習慣を説明する (目上とオヘール神父)

電話 0742・71・8156

京都司教区人事一覧

2000年4月24日任命

京都北部

宮津ブロック
共同宣教司牧網野 岩瀧 加悦
丹後大宮 峰山 宮津M. カリエ
横田志郎
谷口秀夫舞鶴ブロック
共同宣教司牧綾部 西舞鶴 東舞鶴
福知山 報恩寺N. レサール
D. ウィール
近藤 勉

滋賀

湖西ブロック共同宣教司牧
大津 唐崎 安曇川

瀧野正三郎 J. ラレス

湖東ブロック共同宣教司牧
草津 甲賀 彦根 長浜

J. ジャクソン A. キム

京都

南部

東ブロック共同宣教司牧
河原町 北白川 高野 山科浅田年生 J. モンロイ
F. オガンド 小野十益(協力司祭)
Y. ボアペール(協力司祭) 茨木晃(協力司祭)

西ブロック

共同宣教司牧
桂 九条 西院 長岡

西野猛生 福岡一穂 外崎 豊

丹波 村上真理雄
(亀岡聖堂・園部聖堂)北ブロック共同宣教司牧
衣笠 宇津 山国 小山 西陣R. チャイコフスキイ
L. ホルスティンク
W. チネカ(協力司祭)

南ブロック

共同宣教司牧
伏見 桃山 八幡

東門陽二郎 L. ウォルケン

宇治・青谷 北村善朗
田辺・精華 花井拓夫希望の家
J. ロベス教区長 大塚喜直
司教總代理 村上真理雄

司教館付

三宅秀和(カトリック学校教育専任)

P. バラスバス(研修休暇)、上田巖(神の園居住)

奈良

奈良県北部ブロック共同宣教司牧
富雄 登美ヶ丘 奈良 大和郡山松本秀友 J. ウォルシュ W. ポルセス
S. ニュージェント K. ハンロン奈良県南部ブロック共同宣教司牧
御所 西大和 大和高田 大和八木

P. ウィックス K. タロウ J. ヒル

三重

北勢ブロック共同宣教司牧
桑名 四日市 鈴鹿 亀山

村上透磨 E. モンレアル A. バルデス

中勢ブロック共同宣教司牧
上野 名張 津 久居
R. ネリグ P. オヘール
C. ウィッテ(協力司祭)南勢ブロック共同宣教司牧
伊勢 松阪

B. ニシムラ 柳本 昭 R. ザーン

福音センター J. ラレス(兼任)

学校法人担当 小野十益(兼任)

青年センター担当
福岡一穂(兼任) 外崎 豊(兼任) 森田直樹(兼任)

教区本部事務局 森田直樹

国際協力委員会 P. オヘール(兼任)、J. ハメル

滞日ラテン・アメリカ人司牧専任 B. ロハス

お
知
ら
せ

福音センターより

電話 075(822)7123
FAX 075(822)7020

◆養成コース

▼出前養成コース 11日(土)「集会祭儀におけるみことばの役割と大切さ」メリノールハウス

◆西院カトリック会館での行事

▼結婚講座第五回 4日(土)「男・女・性・結婚という人生を生きる」シスター石崎▼奥村神父

聖書講座 9日(木)「隠れて祈れ」

14時～16時▼書道教室 毎週金曜日 3月24日まで▼すみえ教室

第二、四木曜日▼結婚講座 4日(土)

教区委員会より

◆典礼委員会

▼聖体奉仕者学習会 18日(土)14時から河原町カトリック会館▼オルガニストのための個人レッスン

26日(日)27日(月)講師小田賢二問合せTEL501-5176まで。

◆信教教育委員会

滋賀地区より

◆滋賀地区への福音センター出前養成コース

12日(日)10時～16時。唐崎メリノールハウス

◆大聖年記念行事 5月28日 安土セミナリヨ跡地及び文芸セミナリヨ(セミナリヨ跡地の近くにあ

▼小学生侍者合宿 27日～29日洛

星研宗館 対象新学年度4年～6年生男女 定員35名(先着順)会

費8000円 申込み宇治教会北村神父に郵便またはFAX0774-24-4329 締切3月6日(月)

◆部落問題委員会・正義と平和京都協議会

▼春季合宿 4日～5日狭山市富士見集会所「見えない手錠を解かれる日まで—狭山差別裁判」

◆三重県カトリック研宗館の行事

▼三重CMCC 4日(土)及び18日(土)14時30分～16時30分 キリスト教メンタル・ケア・センター

公開講座「心病む人々の友となるう」受講料 部分参加一回二千円

三重地区より

◆三重CMCCの行事

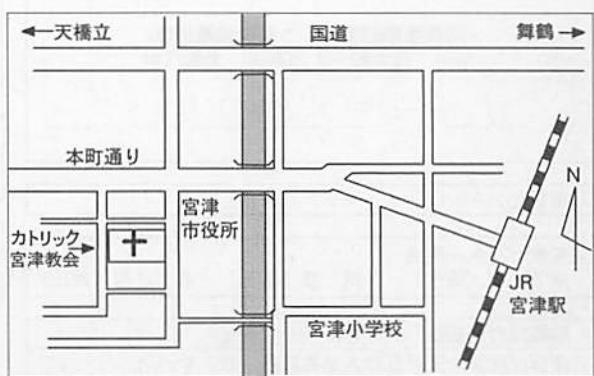
▼三重CMCC 4日(土)及び18日(土)14時30分～16時30分 キリスト教メンタル・ケア・センター

公開講座「心病む人々の友となるう」受講料 部分参加一回二千円

きとしか言いようがありません。神の国は、人間の狭い理屈を越えた仕方で実現していくものなのでしょう。ある人が「神父さん、この聖堂に信者がいっぱいになるのはいつの頃ですかね」と皮肉交じりに聞きました。ルーブ神父は「三百年待ちなされ」と答えていました。ブラウニングの詩にこうあります。「この高き人は、追求すべき大事ありて、それを知る前に死す」。みことばのために、百万を単位として生き、生前には一単位も受け損なった人、この人こそ「高き人」というべきでしょう。福音宣教には、人の生死に力をはるかに越えた、遠大な摂理が働いていることを思わずにはいらぬ。福音宣教には、人の生き死に返つて、ミサを大切にしながら、サから始まる」という基本に立ち返つて、ミサを大切にしながら、着実に歩んでいきたいと思っていります。(宮津教会ミサ時間 日曜日午前十時)

聖なる巡礼とその意味

全免償を得るための巡礼とは、単にその場所にでかけ聖なる場所を訪問するという行為ではなく、キリストのあがないに預かるという目的にふさわしい精神でこころの準備をして、相当の犠牲をはらつてその場所に赴くことが、必要でしよう。しかもその場合、できれば個人ではなく複数で、すなわち共同体で巡礼することが特に求められているようです。(大聖年司牧書簡から)



る町営の音楽ホール) 記念ミサ、コンサート(1)安土とキリスト教の関係を解説しながら、当時の聖歌を解説・演奏する。コンサート(2)比較的ポピュラーなオルガン曲、及び懇親会 詳細は追って案内します

奈良地区より

◆奈良地区巡礼指定地のミサ時間
▼奈良教会(日)7時、10時半、(月)7時、(火)18時、(水)7時、(木)18時、(金)7時、(土)18時▼大和高田教会(日)9時、(火)18時、(木)10時半、(金)18時、(土)8時

京都南部地区より

◆フランシスコの家(巡礼指定地)
▼在世フランシスコ会京都兄弟会例会 19日(日) 13時30分

◆カナの会結婚相談室 5日(日)13時30分~15時。河原町会館6階

◆京都カトリック混声合唱団 練習日 12日(日)14時 河原町会館

6階 リハーサル 19日(日)14時 チャリティーコンサート 20日(月) 河原町教会

◆京都キリストン研究会定例会

26日(日) 14~16時。河原町会館 6階 ◆コーエーチェレステ 練習日 第2、第4、第5木曜日10時~12時(金) 河原町教会地下ホール ◆信睦二金会 10日(金) 10時~13時 西陣教会 ◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会12日(日) 13時30分。河原町教会▼京都中央理事会・定期例会26日(日) 13時30分 河原町教会 ◆糠みその会 30日(木) 19時45分。九条教会 ◆レジオ・マリエコミニチウム 26日(日) 13時半河原町地下会議室(4月から第3日曜日河原町6階会議室に戻ります) ◆カトリックスカウト▼指導者研修会 5日(日) 奈良教会▼宗教トレーニングキャンプ 24日(金)~26日(日) 奈良市青少年野外活動センター(18日~20日の日程を変更) ◆北ブロック 1月号に掲載された10月29日の「聖体大会」は10月15日(日)に変更になりました。 ◆河原町教会 二〇〇〇年巡礼バス旅行19日(日) 奈良地区(奈良教会・大和高田教会)一人三五〇円(6月京都北部、9月三重地区を予定) 問合せ村田朋昌まで

◆衣笠教会 26日(日) 環境についての勉強会 19日(日) 春季合同慰

◆西陣教会 19日(日) 共同回心式 12日(日) 丹波教会 12日(日) 共同回心式 ◆聖母学院小学校卒業式 17日(土) ◆聖母学院中学校卒業式 18日(土) ◆ノートルダム女学院中学校卒業式 21日(火) ◆ノートルダム女子大学卒業式 9日(木) ◆洛星中学校卒業式 23日(木) ◆カトリックスカウト▼指導者研修会 5日(日) 奈良教会▼宗教トレーニングキャンプ 24日(金)~26日(日) 奈良市青少年野外活動センター(18日~20日の日程を変更) ◆ウイチタ聖ヨゼフ修道会白梅町修道院 FAXがつきました。 075(461)0247 ◆京都文化博物館(三条高倉上る)でキリストン関係の展示 江戸時代京都が見たヨーロッパというタイトルで、鎖国後の異国を対象にした南蛮寺の硯、キリストン墓碑、ローマ字の木簡、都の南蛮寺図扇面などが展示されます。 3月10日~4月9日(3月15日休館日) 10時から18時(入館は17時半まで) 入場料一般1000円、大高生700円、中小生500円。

までにハガキ〒六六五一〇八〇五宝塚市雲雀丘一ー一〇一〇御受難修道女会または電話0727-59-3742でシスター朝倉に連絡して下さい。 ◆「一万匹の蠍運動」基金報告 累計 24,529,347円 ◆電話番号情報コーナー いのちの電話(相談窓口) 075(864)4343 0742(35)1000 052(971)4343 075(461)0247 ◆京都文化博物館(三条高倉上る)でキリストン関係の展示 江戸時代京都が見たヨーロッパというタイトルで、鎖国後の異国を対象にした南蛮寺の硯、キリストン墓碑、ローマ字の木簡、都の南蛮寺図扇面などが展示されます。 3月10日~4月9日(3月15日休館日) 10時から18時(入館は17時半まで) 入場料一般1000円、大高生700円、中小生500円。

大塚司教の

3月のスケジュール

- 1日(水) アヴェ・マリア幼稚園
公式訪問
- 3日(金) 大阪京都合同顧問会15時～17時
- 5日(日) 青少年委員会(河原町)16時
- 6日(月) 長岡カトリック幼稚園感謝の祈り(河原町)10時
- 9日(木) 司教常任委員会10時
- 9日(木) 正平協事務局16時
- 9日(木) 日韓関係史勉強会18時
- 10日(金) 正平協運営委員会
- 12日(日) 教区合同洗礼志願式(河原町)14時
- 14日(火) 聖母女子短期大学卒業式10時
- 14日(火) 社会福祉法人カリタス会理事会14時
- 15日(水) ノートルダム学院小学卒業式10時
- 16日(木) 司教顧問会10時
- 17日(金) 聖母学院小学校卒業式10時
- 18日(土) 京都教区聖体奉仕者・集会式者学習会(河原町)14時
- 19日(日) 登美が丘教会ミサ9時

21日(火) 松本秀友・瀧野正三郎両師司祭叙階銀祝ミサ(河原町)

17時

22日(水) 学校法人滋賀カトリック学園理事会14時

23日(木) 学校法人カトリック京都学園理事会14時

24日(金) 京都教区保育研修会(河原町)10時

25日(土) 衣笠カルメル会大聖年

26日(日) 故バウロ岡淑人神父一年祭ミサ(河原町)10時30分

27日(月)～29日(水) 教区小学生侍者合宿

29日(水) 聖香油ミサ・奥村豊神学生祭壇奉仕者選任式(河原町)10時30分

私たちが青年センターの専従となつてから、早くも1年が去るうとしていますが、この春、専従が交代になりますのでおそれの御挨拶をさせていただきます。

「1年を振り返って」

塙本糸里

私はこの1年間発見の毎日でした。運営委員会・管区会議・Look At Me・TYD等：初めての事ばかりでとても新鮮でした。センター内でも、今まで気づかなかつた事が見えてくるに連れ、私自身に問い合わせ自分で自分を信じ突っ走っていた様に思います。たくさん仕事を学び、感じ得たなかで、友達の大切さ・友情の温かさに感謝しています。各地での会議・行事に参加したとき、自分自身を見失つたとき、分からぬ事があった時などいつも誰かに支えてもらいました。この経験は私の中でもとても言葉で言い表す事の出来ない貴重なものです。これからも、この1年間で得たものを大切にして関わっていきたいと思います。みんな本当にありがとうございます。感謝しています。

「青年センターの専従…」

小泉誠

か?」青年センターの専従という「仕事」に就いて、数日たつた頃にそう思いました。今年、専従と学生という二足のわらじをはくことになりました。私が、専従を受けたのは、それまでセントラーや行くことが多々あります。西院の青年センターの部屋で電話の応対、ジョバニの作製、その他事務いろいろ。「なんや、簡単やん。」そんなあまり考へて始めてみたら…。センターに遊びに行くだけでは見えない仕事のなんと多いことだろか!! 仕事がわかつていたつもりになつていただけだと痛感しました。これまでの専従者の皆さんが、この仕事を全部1人でやつていたのかと思うと、「簡単」と思った自分が恥ずかしく、同時に、そんな苦労をみじんも見せなかつた歴代専従者の皆さんに頭が下がる思いです。また、そんな仕事の多い青年センターが、どれだけ多くの人に支えられているのか、周りの人気がどれだけ青年達に期待しているのかを感じることも出来ました。「僕は一人じゃない」改めてそう思いました。1年間ありがとうございました。